

第2次江田島市総合計画審議会（第7回）議事録

開催日時	平成26年10月16日（木）午後2時00分～4時00分
開催場所	江田島市役所 本庁 2階会議室
出席者	<p>■ 審議会委員（敬称略 関係団体の役職員については就任時の状況）</p> <p>木村 洋 広島県地域力創造課 課長（代理：山田参事出席） 小方 憲三 江田島市自治会連合会 会長 藤田 里子 江田島市女性会連合会 副会長 前田 政子 江田島市老人クラブ連合会 副会長 富田 美保 江田島市PTA連合会 母親代表 青木 博美 安芸地区医師会江田島ブロック ブロック長 大石 君枝 江田島市社会福祉協議会 理事 村上 浩司 江田島市農業委員会 委員 久保河内 鎮孝 江田島市漁業振興協議会 会長 伊藤 富美雄 江田島市観光協会 会長 中谷 隆 県立広島大学 教授（審議会会長）</p> <p>■ 江田島市</p> <p>正井 嘉明 副市長 山本 修司 企画部 部長</p> <p>【事務局：企画部企画振興課】</p> <p>畑河内 真 企画振興課 課長 道本 浩二 企画振興課 主任</p> <p>【事務局：株式会社地域計画工房】</p> <p>増村 嘉大</p>
欠席者	<p>■ 審議会委員（敬称略 関係団体の役職員については就任時の状況）</p> <p>樋上 美由紀 江田島市教育委員会 委員（審議会副会長） 宇根川 昭男 江田島市商工会 副会長 フンク カロリン 広島大学 准教授</p>
傍聴者	1人
会議次第及び資料	<p>会議次第</p> <p>1 開会 2 会長あいさつ 3 協議事項 （1）平成26年度市民満足度調査について【資料1-1, 1-2】 （2）第2回市民ワークショップについて【資料2-1, 2-2】 （3）基本計画素案のたたき台（未来を切り開くまちづくり）について【資料3】</p> <p>4 閉会</p> <p>【資料】</p> <p>資料1-1：平成26年度市民満足度調査について（要約版） 資料1-2：平成26年度市民満足度調査について（全体版） 資料2-1：第2回市民ワークショップについて（要約版） 資料2-2：第2回市民ワークショップについて（全体版） 資料3：基本計画素案のたたき台（未来を切り開くまちづくり） 参考資料1：第2次江田島市総合計画策定スケジュール 参考資料2：職員プロジェクトチーム提案書</p>

会 議 記 録	
事務局	<p>1 開会</p> <p>本日は、お忙しい中お集まりくださりまして誠にありがとうございます。</p> <p>会議を開催するに先立ち事務局からお知らせします。 本日の会議資料について、ご確認くださいませようお願いします。 資料は、次第、委員名簿、資料1-1から資料3までございます。また、参考資料として、策定スケジュール、職員プロジェクトチーム提案書、第6回審議会の議事録を付けております。もし、ないようでしたら事務局にお申し付けください。</p> <p>本日の会議も、これまでの会議と同様に議事録を作成いたしますので、録音をさせていただいております。あらかじめご了承くださいませようをお願いいたします。</p> <p>それでは、ただいまより第2次江田島市総合計画審議会の第7回を開催いたします。審議会は次第にそって進めさせていただきます。</p> <p>それでは、中谷会長からごあいさつをお願いいたします。</p>
会長	<p>2 会長あいさつ</p> <p>お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。 今回は出席者も多く、多くの意見を出していただければと思います。 欠席の委員からも意見を頂いているようです。 今日は内容が盛りだくさんで、市民満足度調査やワークショップといった資料も出ています。メインとなる議題は、「未来を切り開くまちづくり」の素案ということで、前回は「市民満足度の高いまちづくり」についての素案を出していただきましたが、もう1つの柱となるまちづくりについて検討していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日の会議には14名中、出席者は11名、欠席者は3名となっています。よって、江田島市総合計画審議会条例第7条第2項の規定により委員の2分の1以上の出席がありますので、会議成立の定数に達していることをご報告させていただきます。</p> <p>なお、欠席者は江田島市教育委員会 樋上副会長、江田島市商工会 宇根川委員、学識経験者 広島大学 フンク委員の3名です。</p> <p>それでは審議会条例第7条第3項に会長は会議の議長となるとありますので、ここからの進行は会長でお願いします。</p>
会長	<p>3 協議事項</p> <p>それでは、早速でございますが、協議事項に入りたいと思います。 次第にありますように、3（1）で平成26年度市民満足度調査についてです。 この件に関して事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（1）平成26年度市民満足度調査について【資料1-1、1-2】</p> <p>それでは市民満足度調査について、ご説明いたします。 資料1-1が要約版で、資料1-2が全体版となっています。説明は資料1-1を使用いたしますので、ご覧ください。（「平成26年度市民満足度調査について」説明）</p> <p>※内容は資料1-1、1-2のとおり</p>

【平成26年10月16日：第2次江田島市総合計画審議会（第7回）要点録】

会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>このアンケートについて、ご意見、感想など頂ければと思いますがいかがでしょうか。回収率は昨年度実施分から大幅に変わったという状況ではないようです。回答していただいている年齢層もあまり変化はないということです。重要度に関しても、満足度に関しても変化は大きくないようですが、今回からは、アンケート調査票に取組の内容を記載しているのが功を奏しているかも知れません。</p>
委員	<p>資料を事前に頂いてから目を通すと、やはり観光というところが散布図のCやDになっており、満足度が低く問題点が多いのではないかと改めて感じています。観光協会においても、今年度から色々な形の中で、部会といった形で問題を検討しながら改善していこうという取組はしていますが、今回の資料を参考にさせていただき、場合によっては取組をしていかなければならないという思いです。</p>
会長	<p>資料1-1の3頁を見ると、委員が言われたようなことが如実に表れており、昨年度と比較するとB評価からD評価になっているものもあり、色が良い方には変化していない状況にあります。</p>
委員	<p>良い地域性を持っているので、観光の面でポイントを良くするためには、市のアピールも大事だと思います。</p> <p>市の動きも非常に遅く、地域の方の話を聞いていると、市の職員がしっかりとアピールするような動きをした方が良いのではないかとということも聞きます。</p>
委員	<p>今年から市の協力を得ながら、観光アドバイザーという形で観光協会の企画部会が動いており、市の予算も付けていただいています。今後成果が出てくると思いますが、市にもしっかりとフォローをしていただいています。</p>
会長	<p>後で説明があると思いますが、今回は非常に面白い取組を市がやっておられて、職員の方々に江田島市をどのようにしていけばいいかと言うことで企画提案をしていただいております。市職員も同じことを認識している部分があると思います。</p> <p>楽しい内容があると、今回の資料を見て私は感じました。</p>
委員	<p>結果を総合計画の中にどう反映するかについては、具体的な何かがあるわけではなく、資料ということになります。今後、どう反映させるかが問題になると思います。</p>
会長	<p>市民満足度調査の内容、ワークショップの意見を大事にして、いつも眺めながら具体的な施策をどういう風に優先順位を付けるか、実施していくかというところに持って行かなければならないと思います。非常に貴重な意見だと思います。</p> <p>前回からの変化として、個人的に感じたのは、重要度ポイントの変化と満足度ポイントの変化にも出ていますが、重要度ポイントが下がっているのはどちらかというところも内向なものになっています。自分の周辺のことに関して重要だと言っていたものが、今回は江田島をどのように外に売り込んでいくかというPR的なところに重要度がシフトしているというのは、このアンケートが市民の方々の意識を変えてきているのではないかと想像、これは良い兆候だろうと思います。</p>
委員	<p>会長が言われたように、アンケート結果をどう集約して見るかと思ったときに、散布図で健康・福祉や教育というのは重要度も満足度も高くなっており、生活環境についても良い感じとなっていると言えます。一方で重要だけど満足度が低いのが産業系といったところになっています。</p> <p>1年での比較になりますが、重要度ポイントが上がったところをみると都市との交流の促進や国際化・多文化共生、地域活動という外に目が向いたというのが読み取れるかなと思います。満足度ポイントについては、マイナスとなっている部分は、外に向けた問題意識が高まったから低くでるものと、もともと高いレベルにある生活環境のため基準が厳しいからこそマイナスに出てくるということが読み取れるかと思えます。</p> <p>たくさんの項目がある中で、集約すれば市民が向かわれる方向性にもにじみ出てくると思うので、総合計画の中で方向性として出せば良いのではないかと思います。</p>

【平成26年10月16日：第2次江田島市総合計画審議会（第7回）要点録】

<p>会長</p>	<p>市民の意識の変化と共に、わかるようにしていければと思います。 満足度が低いところは、外に江田島を売り出そうとしたときに、自分の足下の弱さがあるというのが自覚されており、こういうところをしっかりとさせないと外部から客を呼べない、1ターンや定住者を増やせないという項目ばかりではないかと思います。 教育や子育て、産業、医療といったところを充実していかないと定住もしていただけないということが頭の中にあるのだと思います。 意識が外へ向くと同時に、自分の足下を見直してみたら、そういう部分が非常に足りない、不満足だということを意識されているのではないかと思います。 総合計画の案におそらく反映されているのではないかと思います。 具体的な実施計画を立てるというときには、ぜひこれを念頭に置きながら、具体案に落とし込んでいただくよう、要望したいと思います。</p> <p>続いて協議事項（2）の第2回市民ワークショップについて事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>（2）第2回市民ワークショップについて【資料2-1, 2-2】 それでは資料2-1, 2-2をご覧ください。（「第2回市民ワークショップについて」説明）</p> <p>※内容は資料2-1, 2-2のとおり</p>
<p>会長</p>	<p>午前と午後それぞれ4つの班で議論していただいておりますが、出てきたまとめを見るとかなり重なる部分も多く、それらをピックアップしていくと江田島の狙い目が見えてくるのではないかと思います。 若い世代の人たちも多く、情報発信が足りないと言うことが第1にあります。次に環境で少しほったらかしにしているのではないかということが第2に上がってくるようです。第3にもう少し積極的な施策が必要になってくるということのようです。 委員の方からご意見はないでしょうか。 若い高校生が出した自慢出来る島の中で、フラワーガーデニングという提案ですが、これはそれほどお金がかからず、市民が意識を持って自分の周辺を花で飾っていくという試みです。若い人たちにも魅力があることだろうと思われ、ジブリなどのきれいな動画を見て育っていて、そういうものは江田島にも適用出来るだろうから、江田島もそうなって欲しいという思いがあるのだろうと思います。 17歳くらいの高校生の感覚としては、この島を花で飾り、町並みをきれいにすることで、散歩あるいはサイクリングをしやすい環境整備が出来れば、それに付随して色々な事業が展開出来るのではないかという感じではないでしょうか。 事務局が注目していたフレームアートも費用は安く、セットしておくだけです。そこから見ると一つの絵になる、携帯で写真を撮ったり、切り取った形での記念撮影をしたりと、外国でも盛んにやられているやり方です。こういうのもありかとは思いますが。</p>
<p>委員</p>	<p>今日のテレビで、似島でも絵になる箇所に看板を立てるということをあちこちでやられているのを見ました。 何も作らなくても、フレームを置いたところを利用して、立ち止まり絵を描くなどもあるので良いアイデアだなと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>「また来たい島」の景観向上で、「ゴミのない清潔な江田島に」と「シーズンオフの海が汚い」とあります。三高付近ですが、栈橋から県道沿いは湾の部分にゴミが浮かんでおり汚いなといつも思います。満潮で水面が上がると汚くて、ゴミをすくってくれればと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>雪国では雪を下ろすのにお金がかかり、鹿児島では噴煙からの火山灰を処分するのに費用が掛かっています。知っている限りでは、総じて皆さん諦めて住民が行っています。江田島であれば海ゴミですが、どなたかにやってもらいたいという気持ちもあるかもしれませんが、市にもプレッシャーを掛けて、少しでもゴミの除去に知恵とお金を出してもらえるようにすることはありではないかと思います。</p>

【平成26年10月16日：第2次江田島市総合計画審議会（第7回）要点録】

会長	<p>環境美化はきれいにしていくと、住みやすくなることでもあります。環境美化には若い人たちの精神的な教育に良いというところが報告されています。若い人たちを環境美化活動に巻き込んでやっていくということはあちこちでやられているので、江田島の住民が環境美化に参加していくということは、一つの方向性としてあるかと思えます。</p> <p>行政の方でゴミ対策、環境美化の動きはありませんか。</p>
事務局	<p>産業部が漁業関係者と一緒になって海浜清掃をするという事業は行っていますが、継続してやっていく必要があります、事業をやった1回だけでは日々できれいにするということには繋がりにません。そのため、意識啓発も含めてそういった事業を続けていくことが必要かと思っています。</p> <p>もう1つは、コスモ石油がアースコンシャスという取組で市民に参加を呼びかけ、海浜清掃活動を行い、その後でみかん狩りを楽しんでいただくなど、産業部と事業者が連携をして継続的に海浜清掃を続けていくこと、市と市民が一緒になり楽しいイベントづくりをして、子どもたちに海をきれいにしていくことの大切さを経験していただいてもらうような、体験的な事業も進めています。</p> <p>目的を明らかにしながら、継続して続けていくことが大切かと考えています。</p> <p>今年も民泊で修学旅行生に来ていただいています、カヌー教室を行うときには海浜清掃を一緒に行うなど江田島ならではの、アクティビティと環境問題をセットにした取組を仕掛けていき、情報発信も含めてパッケージでやるのが大事であると思っています。</p>
会長	<p>職員による提案の中にも、今紹介されたイベントが入っていますので、継続してやっていくことが大切かと思えます。</p> <p>子ども達と一緒に環境美化活動を行うことは、教育的な意味合いでも大事みたいです。郷土愛を育むと言うことも含めて、環境美化、海ゴミ対策をどんどん進めていっていただきたいと思えます。</p> <p>計画にも反映されるということですので、住民も意識を高く持っていくことが必要だと思えます。</p> <p>個人的にはフラワーガーデニングを是非住民がこぞってきれいにして、飾るという活動が出来れば、観光客への魅力アピールにも繋がるのではないかなと思えます。</p>
委員	<p>昨日が粗大ゴミの日で、今日が燃えるゴミだったのでゴミ置き場へ行くと、やはり粗大ゴミの跡が残っていました。前の週のゴミについても、出す日が違うからと収集されずに帰られるので、ずっと残っているゴミがあります。</p> <p>家の周りにコスモスを植えたりしていますが、そういうことをしながらも、側にゴミが残っているのでは何のための取組かと言うところもあると思えます。</p> <p>そういうゴミの収集場所も自治会なりが当番制であるとかで、管理をするとともに、住民も出すべき時に出すとか、そういう理解も必要かと思えます。</p>
会長	<p>環境美化活動はゴミをなくすことと周辺をきれいにすることとセットかと思えます。</p>
委員	<p>江田島市では、環境衛生については自治体が母体ではありますが、公衆衛生推進協議会が担っています。</p> <p>環境衛生イコール、モラルだと思っています。出したらいけない日にゴミを出すとか、分別をせずにゴミを出すことで溜まっていく状況にあります。どこがやるかはありますが、家庭のゴミをどうするかは、公衆衛生協議会と一緒に各家庭が協力していただかないと、いけないと思えます。</p>
委員	<p>私の地域では粗大ゴミの後日はゴミが多く残るので、回収日の翌日には全箇所を周り環境センターに持ち込んでいます。公衆衛生推進協議会も定期的に地域を回っており、そういう姿を見て近所の人々が動くということもあります。みんながやっている姿を見せることで、少しずつでもきれいになるのではないかなと思えます。</p>
会長	<p>江田島に対する環境の良さ、景観を含めて維持・アピールしていくためには、住民それぞれが意識を高く持ち、周辺のことから美化していくことが大切かと思えます。そういうモラルが高くなれば、自然とおもてなしに繋がっていきますので、特別なトレーニングが必要なくなります。</p>

【平成26年10月16日：第2次江田島市総合計画審議会（第7回）要点録】

委員	<p>石破大臣の言っている地方創生などありますが、地域がどんどん疲弊しており、地域がいかに人を減らさないようにするかは、どういうことを観光資源にしていくのかを話していますが、そういうことをするにあたっては何かの事業を動かさないと意味がなく、ボランティアで花をきれいにしても、見るだけで帰られたら島にお金は落ちないことになります。</p> <p>富良野は畑も多くすごくきれいですが、沢山のお金を使わされます。そういうことで生活出来る、自立出来るから若い人も残っている状況です。</p> <p>お金を儲けられないと若い人は残っていかないとします。</p>
会長	<p>お金を沢山使ってもらわけてですが、その一部を環境保全などの事業に回されているので上手く出来ているなどと思います。</p> <p>本気でやるには、みかん狩りとセットでやるとか産業を含めた形で事業化していかないといけないので、事業者団体を作った方が良くと思います。</p> <p>スポットやルートをどうするかなどは、プロを育てないといけません。事業者団体を組織して、運営も最初は行政も少し絡む形で環境整備、その他を進めてもらうことが必要かも知れません。</p>
委員	<p>花を植えても手入れが必要で、美しくないと見ません。</p> <p>全域は無理でも絞ってやるとか、プロを雇ってやる、広島市では平和公園などは年5回くらい植え替えをしたりしています。そういう体制を整えないといけません。</p>
会長	<p>環境デザイナーに関わってもらいながら、その人達に事業を担ってもらい、江田島を作り替えてもらうという手があります。</p> <p>県立広島大学では海浜セラピーを目指し、商標登録も取り、佐木島などで実証しています。江田島は砂浜を整備していけば、海も山も出来るかと思えます。</p>
委員	<p>ワークショップでたくさん意見を出していただいている、どういう風に評価していくかというときに、瀬戸内海にはたくさん島がありますが、江田島はどこが違うかという、たくさんの方が気軽に足を運ぶことが広島一、日本一だと思います。</p> <p>広島都市圏をターゲットとするという表現もありますが、100万人都市で新幹線、飛行機の交通結節点でもあり観光地でもあるわけで、そういう人たちが気軽に江田島に足を運ぶことが出来るということで、多様性を持って事業化していく形を考えた方が良いのではないかと思います。</p> <p>聞いた話で、有名なデザイナーで建築家の方を招待し、島を1日見ていただいたことがあるようです。そのデザイナーの奥さんが事業をされている方のように、きれいで可愛い島だと言われているなかで、最後に「びっくりしました。海を眺めるベンチが一つもないのですね」と言われたそうです。</p> <p>島の人にとっては当たり前のことで、窓からいつでも海が見えると。外から、特に東京などから来る人は、先ほどのフレームアートのように、絵はがきそのものに見えるのです。海辺に施設などはあっても、眺めるベンチがなかったり、大きな窓があってもポスターや観葉植物などがあり海が見えない状態だったり、すごく勿体ないと言われます。</p> <p>当たり前のことは置いておいて、頑張っ外部と違うことをしないと来てもらえないのではないかとということで色々やっておられますが、どこもそういう風に頑張るので出来た物は他所の物と大差なくなると。</p> <p>楽しい、良い点がたくさんあると思うので、外からの感覚を入れながら取り組みをされたら、良い地域資源になるのかなと思います。</p>
会長	<p>外からの視点が足りないというのは、江田島だけではなく県北もそうであって、標識が内向きになっていて、どこへ行っていいのかわからない状況にあります。住民の方はわかっているから、外から人が来ることを想定せず、標識などをわざわざ立てないようです。</p> <p>外から人を呼び込みたいという場合は、外からの視点から標識などを整備していくことで、外部の人は助かることが多々あると思います。</p> <p>その辺りをまず考えても良いのかなと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>外に売り出して、外部の人が寄って来てみたがどこに行けばいいのかわからないということが起きないようにすると良いと思います。 具体的な施策の内容に入ってしまったが、ご意見は実施計画などを立てる際に活かしていただければと思います。</p> <p>続いて協議事項（3）の基本計画素案のたたき台について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>（3）基本計画素案のたたき台（未来を切り開くまちづくり）について【資料3】 それでは資料3をご覧ください。（「基本計画素案のたたき台について」説明） ※内容は資料3のとおり</p> <p>ご欠席されている委員より意見を頂いていますので、ご紹介したいと思います。</p> <p>第1節 「絵になる島」づくりプロジェクト、「3 公園緑地の魅力づくりと有効活用」についての意見について 高齢化の中で、コミュニティのボランティア活動に頼った公園管理には限界があります。今後の維持のしやすさなども考えて、緑地専門家を加えた維持活動が必要ではないでしょうか。</p> <p>市民ワークショップで出された「海辺や海、観光地をきれいにする」についての意見 「きれいにする」という表現は曖昧だと思います。それは、「ゴミがないようにする」なのか、「古くなった、使わなくなった建物を排除する」までのことを含めるか、水質までも及んでいるのか、もっと具体的に取り上げる必要があります。また「誰が」ということも検討する必要があります。</p> <p>第2節 「楽しめる島」づくりプロジェクト、「2 アクティビティの島づくり」についての意見 自転車やカヌーは利用者が島に持ち込むように考えるか、島で借りるように考えるかなど、様々なケースを想像する必要があります。自動車でも島に入ってから自転車やカヌーを楽しむ人が増えると、逆に交通量が増えるので、自転車で走りにくくなる恐れもあります。以下に公共交通手段を活かすかということが重要です。そのために、現在の自転車・カヌー利用者調査などが不可欠です。江田島を楽しめるのは、まずは広島都市圏の住民ですので、遠回りして自動車に入るよりは、宇品から船で渡って島内で楽しむパターンを最初から作り上げることが望ましい。</p> <p>カヌー体験は、ガイド付きで体験出来るのか、自由に借りられるカヌーまで提供出来るか、検討する必要があります。自由に借りられるなら、それなりの情報提供（潮などについて）も必要です。</p> <p>第3節 「自慢出来る島」づくりプロジェクト、「2 えたじまブランドづくり」についての意見 他の島との差別化を図る必要がありますので、ブランドをあまり広げない方が良いと思います。日帰りで自転車などを利用して島を訪れた人たちは、最後に帰るときに港で農漁産物を購入出来るような施設等があることが望ましいです。販売は朝から売り始めて、すぐ売り切られるようなシステムではなくて、お昼から売り始めて、午後帰るときにまだ充分品物が揃うようなシステムが必要だと思います。</p> <p>第4節 「また来たい島」づくりプロジェクト、「1 おもてなしの島づくり」についての意見 「観光ボランティアの育成」ですが、ボランティアはどのような活動するか、明確ではないです。また、ボランティアを利用すると、その分、観光は産業として成り立たなくなりますので、逆効果もあります。おもてなしの島づくりは、ボランティアよりもプロを育てることに集中するほうが良いように思います。</p>

【平成26年10月16日：第2次江田島市総合計画審議会（第7回）要点録】

事務局	<p>同じくご欠席されている委員からも意見を頂いていますので、ご紹介します。</p> <p>自治会等の活動を行う中で少子高齢化を実感しています。今後10年間をどのように取り組んでいくかというのが非常に重要です。</p> <p>また、職員プロジェクトチーム提案書が良く出来ているので、これを活かすように頑張ってください。</p> <p>以上、ご欠席されている委員からの意見を紹介させていただきました。</p>
会長	<p>たたき台ということで、この場で決定するわけではなくまだまだ検討していくことになります。先ほどからの意見も、その一部がこの中にも入ってくるのではないかと思います。</p> <p>今回は基本計画でして、委員の意見は少し具体的内容も含まれているかと思います。</p>
委員	<p>協議事項（1）から先ほどの説明までを聞いて、多くは観光に関わる問題点、あるいはご提案を頂いていると思います。</p> <p>これらを持ち帰って、しっかりと具体的な施策に活かしていければと思います。</p> <p>今年度から観光協会内に新しいシステムで企画部会を設け、色々な形で進みつつあります。1つは、提案にもあります体験ツアーパックですが、具体的に提案して進めていくようにしています。</p> <p>花が咲くような形で進めていきますので、行政も含めてご協力いただければと思います。</p>
会長	<p>観光協会でも取組を頑張っていますが、外部からの観光業者は入りやすいのでしょうか。</p>
委員	<p>現在は、外部の観光業者を取り入れて、観光事業を進めようという形になっています。</p> <p>今後、結果は1、2年では出ないかもしれませんが、島全体で出来ることを試みつつあります。</p>
会長	<p>ワークショップなどの意見を集約し、江田島の方向性がおぼろげに見えてきたかなと言うときには、外部からの観光業者が入り込むことが大前提になります。</p> <p>専門の事業主体か江田島市や第3セクターのような形で中央センターのような組織をつくり、全部のとりまとめをして外部の事業者を呼び込むというような事業形態が、一番効率が良く早いと思います。</p> <p>聞いてみたいのですが、ホテルを見る事が出来る場所はあるのでしょうか。</p> <p>ホテルの放流という記述があったので、もしもやっているなら岩国などまで行かなくても良いなと思ったところです。</p>
委員	<p>夏に民泊で来た大阪の子どもにホテルを見せると、帰りたくないという様なことは言われます。ホテルは川がある所に、いたりします。</p>
事務局	<p>観光的に見るという形ではなく、日常生活のエリア内で見る事が出来る場所は各地域にあります。民泊で小中学生などが入り込んで来ていて、今年は21校になりますが、夜に少し民泊家庭から散歩に出かけて、その景色の中に居るという形です。</p>
委員	<p>観光でやられているところは、ホテルの飛んでいる量がすごくて、この辺りではホテルが少しいるなという程度です。</p> <p>観光目的でやるとなると、量を育てる必要があると思います。そうするには、地域住民が使う洗剤の種類やゴミ拾いなども、今以上に大変かと思います。</p> <p>川はありますが、そこまできれいでないときもあるので、出来れば良いと思います。</p>
会長	<p>ホテルの見られるところを人工的に作らなくても、そういう素地があることは売りになります。広島市の街のすぐ近くでホテルが見られるのは良いと思います。</p>
委員	<p>山に行けばホテルが見られるところはたくさんありますが、島で見られるところはあまりないと思います。</p>
会長	<p>江田島は登山が出来ると言うこともイメージとしては浮かんできませんので、ホテルや登山を海と合わせて売り出していけばと思います。</p> <p>整備していけば、観光資源がごろごろしているような形に見えるので。</p>

【平成26年10月16日：第2次江田島市総合計画審議会（第7回）要点録】

委員	<p>呉の人に江田島はミカンやカキなどがあり良いところだと言われますが、どこで買えばいいのか、カキを送りたいがどこで出来るのかと聞かれます。地元の方はカキ屋さんで買うというのが当たり前になっていますが、外部の方はそういうお店がわからないし、あっても土日は開いていないという状況です。</p> <p>スポーツも県外から来られる方がおり、スポーツ関係もどこでも出来る形ではなくなってきているので、そういうのもありかと思えます。</p> <p>大学などでは国立江田島青少年の家を利用されているようで、なかなか空いていないようですが、帰りに立ち寄りたりする場所はないという状況です。</p>
会長	<p>芸術関係者も作品を作る場所がなく、そういう人たちは取材旅行などに出かけるのでお金がかかるため、お金持ちしか出来ないという状況のようです。</p> <p>江田島にそういう創作活動が出来る場所があれば、1ヶ月くらい滞在し作品づくりに没頭してもらいたいとも思えます。ワークショップの意見にも、芸術家を呼び込んでアート作品を置いてもらうというのがありますので、1つの方向性としてあると思えます。それには環境整備をして、民間活動も含めて魅力を盛り上げていき、足がかりにして呼び込み、循環するようになればと思えます。</p> <p>交通網は、島に来てでも自転車だけで、外部との繋がりだけではなく内部のバスなどを使いやすいようにしていく必要があります。</p> <p>島内交通網整備、山間地の高齢者バスのような形も兼ねたものが緊急に必要なだと思えます。そうすると、大型の駐車場を設けてバスターミナルもあれば、バスを利用するのか、自転車を利用するのかを来た人に選ばせることが出来ます。ヨーロッパなどは良くやっていて、特定の場所で車をストップさせ、交通機関を使ってもらおうと。そうすることで移動がゆっくりになることで、店に入り物を買うようになるという仕掛けに繋がります。</p> <p>そういう仕掛けはプロの方がよく知っているのので、アドバイスを頂ければユニークなまちづくりになるのではないかと思います。</p> <p>大柿に橋が通っているのを逆手にとって、そこで止めてしまうというやり方も面白いかなと思えます。そういった全体的な仕組みも作れます。</p> <p>情報網が整備されていて、市民満足度が高くなってきています。これは非常に大事なことで、一旦内側に入ると静かな町でありながら、情報網ではすごく動的ですぐに情報を手に入れることが出来るという、この2本立てが魅力だと思います。</p> <p>今まで以上に整備を続けていけばよいのではないかなと思えますが、wi-fiはどうか。それが出来れば、外と繋がっているのが不安を感じないようになり、癒しの空間を提供出来るかなと思えます。</p> <p>若い人たちは情報を遮断されると不安になるので、情報を遮断されずゆっくり出来る場所というのは、理想の観光条件が整っていると思えます。</p>
事務局	<p>観光用のwi-fiは来年度整備を試みようかという話は出ています。</p>
委員	<p>民泊の子どもたちは星やホテルを見たり、夕日に照らされながら魚を釣ったりして喜んでいますが、ただ、住んでいる住民はそれほど魅力と感じていなくて、子どもたちに教わっているような状態で、ようやくこの島はそんなに良いのかなと認識しています。</p> <p>外部から、本職の人に入ってもらおうということが大事かなと思えます。市役所職員も、審議会委員も地元の人なので、なにがどう魅力かがわからないというのが本音です。</p> <p>先ほどのベンチがないというのも、住民がスーパーでベンチがあればということに近いのかなと言う感覚でした。</p>
委員	<p>それだけ、日常で感覚が鈍っているのかなと思えます。</p>

【平成26年10月16日：第2次江田島市総合計画審議会（第7回）要点録】

事務局	<p>島の人意識が変わるような取組をしたいと思っており、民泊もその1つで、旧4町の一体感を醸成する大きな役割を果たしています。特定の地域だけということではないので、それぞれが協力しながら進めるという形になっています。</p> <p>そういう取組を通じて、島に対する意識が少しずつ変わってきているので、大事に計画の中に組み入れたいなと思っています。</p> <p>ただ観光の町として、観光を誘致し、多くの人に来てもらい、お金を落とすのであればいいものの、ゴミだけを残していくことになるのは避けるべきだと思います。</p> <p>橋で繋がり島が賑わうとかで盛り上がっている所もありましたが、あっという間に通り道などになっている事例もあります。良く見極めていかないと、一過性になってしまうのではないかと心配しています。</p>
会長	<p>環境の立地からしても、車を止めるといった1つのポリシーがあってもいいかと思えます。こういうことを体験したい人に来てもらいたいということで、とにかくたくさんの人を呼び込むのではなく、同じ考えというポリシーも、市を守ることに繋がります。</p>
委員	<p>交流定住の条件整備で、本年度、東京の有楽町に広島県が移住相談窓口を設置し、話を聞いてみると若い人からの相談が増えています。昔は定年退職した人に、田舎で悠々自適な暮らしはどうですかといった形でした。都会に疲れた人や変わった人が来るのではなく、優秀な人が自分の力を地方で試してみたいということが増えています。そういう人が地域に入ると地元と上手くやられたり、地域のための活動をしながら仕事をされたりしているということです。</p> <p>定住促進では、市民満足度調査で点数の低かった産業・観光の部分が絡んでくると思います。この取組で横に繋がる部分があるかと思えますので、定住の切り口などで観光とも農業とも、地域づくりとも繋がるようなことを考えていただければと思います。</p>
会長	<p>江田島で仕事が出来るとい形になれば、徐々に定住者も増えてくると思います。若い人たちは地方に注目しており移住したい人もいますが、条件があり、情報網がしっかりしているということが必ず言われます。</p> <p>情報が遮断されるところには行きたがらず、情報網がしっかりしている所で田舎暮らしがしたいという、そういう感覚です。</p>
事務局	<p>江田島市の良さは、島のみんなが手厚くしていることであり、それを感じ取ってもらい、島に住んでもらい、ここから広島や呉などに通うことがポリシーになるぐらいの島にしたいという思いがあります。</p> <p>フェリーでコーヒーを飲みながら通う、そういう夢のある島にいずれは出来るのではないかと思います。こういう時代であっても渋滞がないので、広島市北部から通うよりも遙かに早く中心部へ行けますので、そういったところを売り出していければと思います。</p> <p>移住されている方も、モンゴルや北海道などから来て住んでおられ、交流も深まっていますので、そういった良さも徐々に発信できているのではないかと思います。</p>
会長	<p>広島市のみなと公園にサッカースタジアムが出来ると密かに応援していて、あれが出来るとガラッと環境も変わってくると思います。マツダスタジアムでの人の動き方のよくなると思いますので、期待したいと思っています。</p> <p>ワークショップや市民満足度調査など多くの項目で盛り上がりました。頂いた意見を具体の計画に落とししていくように目を光らせつつ、アイデアをくみ取っていきたいと思っています。</p> <p>次回の審議会の日程についてですが、事務局と協議し11月19日（水）でどうかと思います。今までは木曜日の開催が多かったかと思えます。</p> <p>問題ないようでしたら、次回を11月19日（水）を予定日としますので、よろしく願いいたします。</p>
	<p>4 閉会 それでは第7回の審議会は終わりたいと思います。ありがとうございました。</p>